

1. 調査報告概要表

【認知症対応型共同生活介護用】

作成日 平成20年8月29日

【評価実施概要】

事業所番号	2774800383
法人名	株式会社 ラポール
事業所名	グループホーム和み庵
所在地	松原市北新町1丁目3-18 (電話) 072-338-7525
評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1番54号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成20年8月18日

【情報提供票より】(平成20年7月25日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成14年4月1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	11人	常勤	7人, 非常勤 4人, 常勤換算 7人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	2階建ての	2階 ~	2階部分

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000円	その他の経費(月額)	円
敷金	有 (100,000円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (100,000円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300円	昼食 500円
	夕食	700円	おやつ 0円
	または1日当たり		円

(4) 利用者の概要 (平成20年7月25日現在)

利用者人数	9名	男性	0名	女性	9名
要介護1	1名	要介護2	4名		
要介護3	0名	要介護4	4名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 87歳	最低	80歳	最高	95歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	松原たかいくリニック
---------	------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

近鉄布忍駅より徒歩1分の住宅地にあり、近くにはスーパー、神社、学校、公園等があり、交通の便が良く訪問しやすいと家族や友人に喜ばれています。株式会社ラポールが老人マンションを経営し、認知症高齢者がゆったり暮らせるところはないかとの要望により、グループホームを設立しました。家庭的な環境の下、あわてず急がず利用者のテンポに合わせて、穏やかな気持ちで過ごしてもらえることをモットーに、管理者や職員は励んでいます。毎日の散歩や体操、運動を心がけ、体力を維持できるよう取り組んでいます。近隣との交流もあり、一人で散歩をしている利用者がいると、ホームに教えて下さるような関係作りもできています。食べることを大切に、季節の野菜や果物を取り入れて、毎日「喜び」の提供をしています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連科目:外部4)
	外部評価については職員に報告し、具体的な検討をして取り組んでいます。評価結果の改善に向けて、より把握しやすくなるよう介護計画のケア実施記録やモニタリングの記録方法を検討しています。また、入浴については、ホットタオルでの清拭を毎日実施する等清潔保持を心がけています。水分摂取量の少ない利用者は日報に記録して把握するよう取り組んでいます。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価については、管理者と介護支援専門員で検討し、わからないところは職員に聞きながら取り組んでいます。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	会議の規定を作成しています。また、会議録で出席者(地域代表者、松原市職員、家族代表、管理者、計画作成者担当者)が確認できます。会議で得た意見をサービス向上に活かせるように努めています。会議では行事の実績報告をしたり、老人会への入会を検討したり、ボランティアを紹介してもらうことで地域との交流を図ることができています。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族の訪問は、週1回の方や月1回の方など様々です。訪問時に一緒に夕食しています。また、毎月1回「和み庵だより」を発行し、家族へ、利用者の生活状況や訪問医、訪問歯科医の報告及び、連絡事項や行事の案内を伝えています。また、訪問の際には近況を伝えると共に、金銭管理についても出納帳を確認してもらい、サインを得ています。玄関脇に意見箱を設置しています。職員は自由に意見を言える雰囲気作りを心がけています。誕生日会には利用者の家族全員を招待し、交流を図りながら、ゆっくりと意見や要望等を聞き、結果を反映させています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域の商店街のジャンボ夏祭りに浴衣を着て出かけたり、近隣小学校の運動会へ参加したり、「ぬのせっこ祭り」には小学校体育館へ出かけ、うどんやおでんを食べたりしています。社会勉強のため小学生がホームを来訪し、利用者と共にアジサイの貼り絵や歌、ゲームを披露しておやつを食べ楽しみました。また玄関には「こども110番」の看板を掲げて地域に協力しています。ホームで利用者が縫った雑巾を交番や学校に届けて交流を図っています。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「1 家庭的な環境の下慌てず急がず利用者のテンポに合わせて穏やかな気持ちで過ごそう。2 お互いの意見を認め合い、相手の存在を敬う。3 和気あいあいと過ごせるよう、自発的な活動を引き出そう。」を理念として掲げています。今後理念の中で地域密着型サービスとしての役割を担える内容になるよう検討中です。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は明文化され、事業所の玄関や台所など職員の目に付きやすい所に掲示しています。職員の採用時や日々の業務の中で、管理者が方針・目標について日常的に伝えています。今後、理念や方針を利用者や家族にわかりやすい方法で伝える工夫が望まれます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	利用者は、地域の商店街のジャンボ夏祭りに浴衣を着て出かけたり、近隣小学校の運動会へ参加したり、「ぬのせっこ祭り」には小学校体育館へ出かけてうどんやおでんを食べることもあります。小学生がホームへ来訪し、利用者と共に貼り絵やおやつを楽しむこともあります。また玄関には「こども110番」の看板を掲げて地域に協力しています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価結果については職員に報告を行い、具体的な検討をして取り組んでいます。自己評価については、管理者と介護支援専門員で、わからないところは職員に聞きながら取り組んでいます。外部評価結果の改善に向けて、より把握しやすくなるよう介護計画のケア実施記録やモニタリングの記録方法を検討しています。入浴については、ホットタオルでの清拭を毎日実施する等の清潔保持を心がけています。水分摂取量の少ない利用者は日報に記録して把握するよう取り組んでいます。	○	サービス評価の意義や目的を職員間で共有し、計画的・継続的にサービスの質の向上に取り組まれることが求められます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議の規定を作成しています。また、会議録で出席者（地域代表者、松原市職員、家族代表、管理者、計画作成担当者）が確認でき、会議で得た意見をサービス向上に活かせるように努めています。会議では、行事の実績報告を行い、老人会への入会の検討やボランティアを紹介してもらうことで、地域との交流を図ることができます。	○	運営推進会議は、年に6回もしくはおおよそ2ヶ月に1回の開催が求められます。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村担当者とは連絡を取り合い、電話で相談したり、時には市へ出向いています。相談できる担当者も確保しています。市の高齢介護室より、運営推進会議のメンバーとして参加もしています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の訪問は、週1回の方や月1回の方など様々です。時々是一緒に外食に出かけたりしています。また、毎月1回「和み庵だより」を発行し、家族へ生活状況、訪問医、訪問歯科医の報告および連絡事項や行事の案内を伝えています。また、家族の訪問の際には近況を伝えると共に、金銭管理についても出納帳を明示して確認してもらい、サインをもらっています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関脇に意見箱を設置しています。また、自由に意見を言える雰囲気作りを心がけています。誕生日会には利用者の家族全員を招待して交流しています。3～5名来訪のときもあります。その時にはゆっくりと意見や要望等を聞き、結果を反映させています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動や離職は最小限に抑えるように努めています。本社異動についても最小限にしてもらえるよう要請し、新人職員が入る時は業務マニュアルを作成してスムーズになじめるように工夫しています。職員の異動時には「おたより」にて報告したり、家族の訪問時に報告したりしています。認知症の利用者にとってなじみの関係は大切なことで、今後とも異動を最小限にすることが期待されます。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修については職員に知らせて自由に参加できるよう配慮しています。現在は申し込みをしても定員オーバーの時があったりして参加できないこともあります。今後は内部研修の機会を設けるよう検討しています。	○	研修は感染症、認知症、緊急時対応を含む年6回以上の外部、内部の研修が求められます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者や職員は、系列の事業所とは交流勉強会を設けています。また松原市には他に1ヶ所グループホームがあり、機会があれば交流したいと希望しています。以前は、全国グループホーム協会に加入しており、現在は大阪認知症高齢者グループホーム協議会への入会を検討しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居までに家族や利用者に会って面接を行い、相談に応じています。入居してからも本人の意向に沿って、徐々に馴染みの関係を構築しています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	調理、縫い物、配膳、片付け等、利用者のできることをひとつずつやってもらい、得意で楽しめることを見つけています。紳士服を仕立てていた方には、縫い物やほころびの直し方を教わっています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は利用者一人ひとりの得意なことや楽しみごとを把握しており、毎日の家事や活動が職員の押し付けにならないよう、利用者のリズムを大切にしています。そのために職員は家事や活動がスムーズに行えるような環境作りと、タイミングを見計らった言葉かけを重視した援助を行っています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	些細なことでも毎日のミーティングで話し合う場を持ち、月1回の会議でケアについての意見が交わされています。介護計画について、まずは、具体的な実施期間の記入や、家族による同意欄を明確にするなど、記載する書式の整理に取り組んでいます。	○	少しでも多くのケアの気づきに結びつけるためにも、それぞれ職員が把握している利用者一人ひとりの生活特性を、統一された書式に記載していくことが求められます。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	前回確認できなかったモニタリングの記載について、その後の見直しから順次記載されています。変化が生じたときは臨機応変に見直しが行われています。	○	変化がないと思われる場合も、6ヶ月に一度程度定期的な見直しが求められます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	グループホームの玄関先のベンチで涼んでいたら、道行く人から介護相談を受けることがあります。また、『こども110番』の看板をあげて地域に協力しています。系列のラポール本社の事業所で行われるお花見に参加する機会もあります。利用者の中には包丁を使っ ての料理でゴボウのささがきや、ネギを刻まれるなど、日々の生活を生き生きと楽しま れています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者や家族の希望する病院を受診することができます。また、近隣の内科医が月2回、訪問看護師が週に1回、精神科医が月に1回、歯科医が週1回ホームを訪れ受診して います。24時間緊急対応も出来ています。受診の結果についても、緊急時はその都度報告 したり、毎月のお便りにて家族に報告して います。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有して いる	重度化した場合や、終末期のあり方については、出来るだけ早い時期から家族や医師と話し合いを行って います。今までは系列のホームにて支援を受けていますが、出来るだけ本人や家族の思いがかなうように、検討を重ね ています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員一人ひとりが勉強会やミーティングの際にプライバシーに関する意識の向上を図るよう心がけています。また、日々の介護の場面でも利用者を尊重した対応を心がけています。誇りやプライバシーには注意を払い、職員の言葉使いも丁寧です。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースを尊重し、急かすことなく支援しています。仲のよい利用者同士と一緒に食事ができるようにしたり、散歩に出かける時も無理強いにならないよう見守ったりしています。事業所の日課はありますが、利用者の希望に合わせて支援し、見守ることにしています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事については3食共にホームで調理してできたてを提供しています。ゴマをすったり、薬味を刻んだり、味付けを教えてもらいながら利用者と一緒に楽しく調理しています。旬の野菜を中心に献立をたて、柔らかさや薄味を考慮しています。食事が一番楽しみと色とりどりの食事を味わっています。職員も食事を一緒に摂りながら支援を行い、後片付けも利用者と職員と一緒にしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴については曜日や時間が決まっていますが、入浴をされない時は曜日を変更するなどして、希望時に入浴できるよう支援をしています。浴室に手すりが増え、安心してゆっくりと会話しながら入浴していただいています。毎日3回ホットタオルを使用して排泄後の清潔に努めています。	○	今後は、利用者の希望を聞き取りながら、週3回入浴ができるよう検討することが求められます。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	散歩が楽しみな方、手伝いや整理整頓が好きな方には毎日支援したり、着物のたたみ方や浴衣の着付けを直してもらったり、縫い物が好きな方には雑巾を縫ってもらって小学校や交番、消防署に届けて喜ばれています。職員が驚くほどの集中力を発揮されて花火の貼り絵に取り組まれる場面もありました。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホーム周辺は住宅街にあり、学校や神社、商店街があり、毎日散歩に出かける方や、夕涼みにホーム前のベンチで腰掛ける方もあります。家族と一緒に外出される方や、ホームからコスモス畑に出かけたり、花しょうぶや桜の鑑賞をしたり、また外食で回転寿司を楽しむこともあります。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	2階がリビングになっていて、職員の日も届きますが、玄関のある1階は誰もいない時間があるので、用心のため外からは入れないようにしています。見守り体制の不十分な時間帯は鍵をかけていますが、内鍵で利用者は自由に開けることができ、外のベンチに座って遊びに来ていた猫を見ている利用者もいました。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	毎年1回消防署からの訪問があり、消防避難訓練を行っています。非常口はいつでも開けられる状態になっています。非常用食料や備品の準備は整っています。	○	毎年1回は消防署の協力を得て実施されているため、あと1回は避難訓練の実施と記録が求められます。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人ひとりの食事摂取量や水分摂取量は把握しています。旬の野菜や果物を中心に取り入れて栄養面に配慮していますが、専門家の意見を聞き取れていない状況です。水分が不足がちな利用者については、水分摂取量の記録を取っています。	○	提供した食事の栄養等について、時々専門家に意見を聞くことが求められます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関には季節の花が植えられ、ベンチが置かれてゆっくりとくつろげる雰囲気です。リビングの中に和室があり、洗濯物をたたんだり、ちょっと横になって休んだりとくつろげるスペースとなっています。生活空間はゆったりとしていて採光も良く、季節に合った貼り絵が飾られていました。1階からはエレベーターが設置され、移動もスムーズです。ホームから駅は見えるほど近いですが、静かな環境です。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室はゆったりとした広さで、利用者は自宅からタンス、テレビ、仏壇などを持ち込み、フランス人形や自分の手作りの作品等がにぎやかに飾られていました。お誕生日や遠足等に撮られた写真を楽しくまとめて飾り、家族や友人に好評だということです。自分の居室で馴染みの品々に囲まれて、ゆったりと落ち着いた生活をしています。		